

“復興にも木の力を”

南会津町 脱炭素カップで表彰

6日に都内で行われた「合研究所理事長」において、脱炭素チャレンジカップで、南会津町環境水道課の「水道事業へ『新！脱炭素化策』」施設建屋の

木質化プロジェクト」が「日本WPA最優秀未
来へのはたき賞」に選
ばれた。
同カップは、幅広い主
体の脱炭素に関する地域
活動の応募について、書
類審査、プレゼンテーシ
ョン審査を通して、優れ

た取組みを表彰するも
の。

の特別賞を受賞してい
る。

同課の取組みは、水道
施設の開設と更新に、地
元企業が開発した町の地
域資源である森林の間伐
材を用いた工法を活用
し、施設整備を効率的に
加速させながら、脱炭素
への貢献を図るもので、
日本水道協会の令和5年
度水道イノベーション賞

日本WPAの奥継雄会
長は、「『木の力』によっ
て、必ずCO2の吸収は
多くなり、サーキュラー
エコノミー、脱炭素の実
現に向かって進んでい
く」と連携への意欲を示
した。

は森林の恩恵を受けてい
る水道事業に木の力を取
り入れた。能登半島地震
では、まだ断水が続いて
いる地域がある。復興に
も木の力が貢献できる。
今回の受賞を機に広がっ
ていけば」と、能登地域
の復旧・復興への思いと
ともに、水道事業を通じ
た脱炭素の推進の広がり
に期待した。



(左から)星係長と奥会長